

様式第 1 号

一般不妊治療費等補助金交付申請書

令和 年 月 日

(あて先) 掛川市長

住 所
申請者
氏 名 ㊞

一般不妊治療費等補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。
なお、補助金の交付決定のため、夫又は妻の住所、戸籍、前年（1月から5月の申請にあっては、前々年）所得及び過去に受けた一般不妊治療費等補助金の交付状況について、市長が確認することに同意します。

夫	(ふりがな)		生 年 月 日 (年 齢)		
	氏 名		年 月 日 (歳)		
妻	(ふりがな)		生 年 月 日 (年 齢)		
	氏 名		年 月 日 (歳)		
住 所		〒 電話			
(夫と妻の住所が異なる場合は、本欄にも記入)		〒 電話			
加入医療保険の状況	夫	種別	☐ 市国保 ☐ 組合同国保 ☐ 健保 ☐ 共済 ☐ その他		
		保 険 者 名		保険者番号	
		記 号 番 号		区分	☐ 本人 ☐ 被扶養者
	妻	種別	☐ 市国保 ☐ 組合同国保 ☐ 健保 ☐ 共済 ☐ その他		
		保 険 者 名		保険者番号	
		記 号 番 号		区分	☐ 本人 ☐ 被扶養者
一般不妊治療等に要した経費の額		円	①		
保険適用となる治療に要した経費の額		円	②		
申 請 額		円	①－②		
過去に受けた本市又は県内他市町による一般不妊治療費等補助金の交付状況		☐ 有り () ☐ 無し			

- (添付書類)
- 1 一般不妊治療等受診等証明書（様式第 2 号）
 - 2 一般不妊治療等を受けた医療機関発行の領収書
 - 3 夫及び妻の前年（申請日が 1 月から 5 月までの間にある場合にあっては、前々年）の所得額及び所得控除額が確認できる書類
 - 4 夫及び妻の戸籍謄本又は戸籍全部事項証明書（外国人にあっては、公の機関が発行した夫婦であることを証明する書類）

(市記入欄)

受 給 者 番 号		交 付 済 額	円
-----------	--	---------	---

様式第2号（その1）

一般不妊治療等受診等証明書（人工授精）

下記の者については、人工受精を実施し、これに係る医療費（保険適用外分）を下記のとおり領収したことを証明します。

年 月 日

所在地
医療機関 名 称
主治医

㊞

医療機関記入欄（主治医が記入すること。）

受診者	夫	(ふりがな)			
		氏 名			
		生年月日	年 月 日	(歳)	
	妻	(ふりがな)			
		氏 名			
		生年月日	年 月 日	(歳)	
治療開始年月日		年 月 日			
今回の治療期間		年 月 日から 年 月 日まで			
人 工 授 精 (回)					
本人負担額の 内 訳	区 分	実費（保険適用外診療に限る。）負担額			
		医 療 機 関 領 収 分 ①	薬 局 領 収 分 ②		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	年 月分	円	円		
	領 収 金 額		円 ①+②		

(注)

- 1 当該患者に関して行った保険適用外の人工授精に係る領収金額のみご記入ください。
- 2 本人負担額の内訳欄の薬局領収分には、治療に当たって院外処方を行った場合に限り、薬局発行の領収書から本人負担額を転記してください。
- 3 対象となる費用は、次に掲げるものです。
 - (1) 事前検査として実施する精子の細菌学検査及び感染症検査に要する費用
 - (2) 精子の採取（事前採取を含む。）に要する費用
 - (3) 精子の事前採取から人工授精当日までの凍結保存に要する費用（夫が人工授精当日に医療機関に受診できない場合に限る。）
 - (4) 精子の濃縮、洗浄等に要する費用
 - (5) 排卵誘発のためのHCG注射に要する費用
 - (6) 精子を子宮内に注入するために要する費用
 - (7) 人工授精後の感染予防のために服用する抗生剤等の投与に要する費用
- 4 文書料（この証明書に係るものを含む。）、個室料等の治療に直接関係のない費用は、含まないでください。

様式第3号

請 求 書

金 円

ただし、令和 年 月 日付け掛健医第 - 号により補助金の交付の確定を受けた一般不妊治療費等補助金として、上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

(あて先) 掛川市長

住所

請求者

氏名

㊞

口座振替先金融機関名

支店名

口座種別

口座番号

(フリガナ)
口座名義人